

# 社会福祉法人東北福祉会

## 令和5年度 事業報告

## 目次

1. 本部（法人全体） .....	1 ページ
2. せんだんの杜 .....	4 ページ
3. せんだんの杜ものう .....	6 ページ
4. せんだんの里 .....	8 ページ
5. せんだんの館 .....	10 ページ
6. 認知症介護研究・研修仙台センター .....	12 ページ

## 1. 法人全体の実施内容

<p>総括</p>	<p>令和4年度に策定をした「中期行動計画」に基づき、各チームにおける事業等の取り組みや各会議をとおして、法人理念の実現を目指した実践を行った。</p> <p>あわせて、経営組織のガバナンスの強化に向けた規定等の整備を進めたが、建物の大規模修繕等をはじめとする資金計画の策定については十分な策定に至らず、課題として残された。</p>
<p>実施項目</p>	<p>1. 中期行動計画の策定に係る取り組み事項</p> <p>(1) 総務部長会議／年10回開催 (2) 人財採用チーム会議／年10回開催</p> <p>(3) 人財育成・評価チーム会議／年12回開催 (4) BCP策定ワーキングチーム／年5回開催</p> <p>(5) 安全衛生委員会代表者会議／年5回開催 (6) 支援系部長会議／年8回開催</p> <p>※令和5年度において「職員満足度調査」を実施した。この調査の概要報告については次ページのとおりに。</p> <p>2. 経営組織のガバナンス強化に係る取り組み事項</p> <p>(1) 理事会／年5回開催(6月6日・6月26日・11月21日・12月13日・3月13日)</p> <p>(2) 評議員会／年3回開催(6月26日・12月20日・3月27日)</p> <p>(3) 監事／①決算監査：6月1日・2日</p> <p>②中間監事監査：11月29日／せんだんの里・せんだんの館</p> <p>③会計監査人による監査報告：5月31日</p> <p>(4) 会計監査／①期末監査の実施：5月18日・19日・22日において各拠点で実施</p> <p>②期中監査の実施：10月・12月・2月・3月において各拠点で実施</p> <p>③理事長への監査報告：6月5日</p> <p>(5) 内部監査／せんだんの杜：3月5日・せんだんの杜ものう：3月7日</p> <p>(6) 経営会議／年23回開催</p>
<p>主な内容</p>	<p>定款・諸規程の整備状況</p> <p>(1) 定款一部改正の実施 (2) 就業規則一部改正の実施</p> <p>(3) 給与規程一部改正の実施 (4) 准職員及び契約職員規程一部改正の実施</p> <p>(5) 職員旅費規程一部改正の実施 (6) 経理規程一部改正の実施</p> <p>(7) 事務決裁規程一部改正の実施</p> <p>(8) 育児休業および育児短時間勤務等に関する規則一部改正の実施</p> <p>(9) 個人情報保護規程一部改正の実施 (10) 特定個人情報管理規定一部改正の実施</p>

## 職員満足度調査の結果について（報告）

日ごろは、入居者・利用者の皆様への手厚い支援に尽力頂き感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染症に対する対応につきましても、各拠点共に感染拡大防止に取り組んで頂きまして、重ねて感謝申し上げます。

さて、法人中期行動計画に基づき今年度1月に実施致しました「職員満足度調査」につきまして、法人全体で368名の職員の皆様より回答を頂きました。職員の皆様におかれましては、調査へのご協力ありがとうございました。

今回の調査結果につきまして、調査・分析を依頼しておりました（株）日本経営社より届きましたので、下記の通りご報告させていただきます。

### 1. 今回の調査の目的

職員の皆様の日ごろの職場における生の意見を知り、魅力ある職場を作り上げていくことを目的として、令和6年1月16日より2月15日の期間において、職員満足度調査を実施致しました。

### 2. 調査方法

（株）日本経営社が提供するES Navigetor IIというシステムを活用した調査を実施致しました。回答方法については、職員各自へIDが付与され、スマートフォン・パソコン・タブレット等で、総設問数60問に回答頂きました。また、回答にあたっては、無記名式であり個人が特定されない仕組みとなっておりました。回答頂いた結果を（株）日本経営社において、法人全体ならびに各拠点の評価・分析を行いました。

### 3. 調査結果

今回の調査では、ID配布総数517名分に対して368名の職員の方より回答を頂き、回答率は71.2%となっております。

本紙においては、法人の強みと思われる平均点の高い項目、法人の課題と思われる平均点の低い項目について、下記の通り報告致します。

#### <法人の強みと思われる平均点の高い項目>

※総設問60問中、上位5項目 ※回答総数 n=368

	質問項目	平均点
1	1) 私は、自分の仕事をより良くしようと取り組んでいる	78.7
2	16) 直属の上司は、自分の仕事に全力で取り組んでいる	74.3
3	24) 当施設は、利用者からのクレームに誠実に対応している	73.5
4	17) 私は、直属の上司の仕事上の能力を信頼している	72.5
5	11) 私は、当施設の理念（哲学）に共感している	71.6

### <法人の課題と思われる平均点の低い項目>

※総設問 60 問中、下位 5 項目 ※回答総数 n = 368

	質問項目	平均点
1	34) 当施設の給与は、個人の仕事上の努力や貢献を反映している	42.5
2	35) 当施設の昇進は、個人の仕事上の努力や貢献を反映している	48.3
3	53) 私が当施設で働き続ける重要な理由の一つは、私がやめると職場や利用者に迷惑がかかるからである	50.7
4	36) 当施設では、個人の仕事上の努力や貢献に応じて、次の重要な仕事やチャンスが与えられている	52.0
5	40) 個人の仕事上の努力や貢献について、当施設の評価基準は明示されている	53.4

※上記平均点の算出方法：各設問における 7 択の回答数の平均点に対して、下記の計算式により算出された 100 点換算の点数となります

例) 設問数の平均点 4.722 の場合 ⇒  $(4.722 - 1) \div 6 \times 100 = 78.7$

#### 4. 考察

- ・今回の結果から、当法人の職員は法人や施設の理念（哲学）に共感し、上司を信頼して組織の一体感を持ちながら、利用者の声に耳を傾け、自分自身も仕事をより良くしようとして取り組んでいる姿勢が見受けられました。
- ・一方仕事上の正当な評価に対する不満も見られ、評価基準の不透明性を感じている人も約半数見受けられました。

#### 5. 今後に向けて

上記の結果・考察の内容を踏まえ、強みはさらに良くするために、課題は解決に向けた検討と実践を繰り返し行いながら、職員の皆様が、『**やりがい（働きがい）や、働きやすく長く安心して勤務する事ができる職場環境作り**』に取り組んでいきたいと考えております。

また、取り組みに対する検討にあたって下記の通り進めていきたいと考えております。

◎法人全体の課題については、経営会議を中心に取り組んでいきます。

◎各拠点で確認されている課題については、各拠点内の各種会議において取り組んで頂くことをお願い致します。

## 2. せんだんの杜実施内容

<p>総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童・障がい・高齢等、領域の異なる各事業所間の連携強化を図り、一体的に運営する意識の醸成が行えた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園と高齢者施設の相互交流（定期的な合同行事開催）</li> <li>・ 就労支援 B 型「杜の工房」に対する、保育園、リベラ荘（特養）からの業務委託の継続と新規業務委託（粗大ごみ回収、書類のシュレッダー作業）</li> <li>・ 杜の旧デイサービスセンターへの就労継続支援 B 型「杜の工房」移転及び定員増に対する仙台市審査会資料の作成並びに協議への障がい・高齢両部門の共同対応</li> </ul> </li> <li>2. 管理経営職が率先し、職場内外の環境整備が行えた。（事務所、ユニット、共用スペースの環境整備。屋外樹木の伐採、電飾の飾りつけ等）</li> <li>3. 風通しの良い職場風土の醸成が行えた。（上司は常に職員ひとりひとりに対し、日常的な会話と関わりを意識的に増やす）</li> <li>4. 職員確保のために活用をしていた人材紹介会社の利用を制限し、職員紹介制度及びハローワーク（就職準備金）、東北福祉大学学生アルバイト（12名）を積極的に活用することで人材獲得にかかる支出の大幅抑制が行えた。</li> <li>5. コロナ前の各種取り組みの再開が行えた。（認知症カフェ、外部への会場貸出、パン屋、ヤクルト、生協出張販売）</li> </ol>
<p>実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織の再編成により（人事異動を含め）領域の異なる事業所間の協力体制強化と利用率等向上のための取り組み再編を行う。（地域包括支援センター、居宅介護事業所、ショートステイ、空所利用を含む特養との連携の強化、児童、障がい、高齢部門の一体化）</li> <li>2. 職場環境、職場風土の向上を行う。</li> <li>3. コロナで停滞・中止していた活動再開と強化を行う。（利用者イベント・各種外部者受入・地域公益活動の再開）。</li> <li>4. 経営の安定に必要な意識、組織改善を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員配置の適正化及び採用方法の柔軟化、職員紹介制度の活用、東北福祉大学学生アルバイトの積極的採用</li> <li>・ 時短職員に対する柔軟な就業時間の導入</li> <li>・ 超過勤務内容の精査と整理</li> </ul> </li> </ol>
<p>主な内容</p>	<p>（制度に基づく取り組み及び地域公益活動）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童・障がい・高齢部門の一本化を図ることで組織の情報共有・役割分担が円滑に行えた。</li> <li>2. コロナ禍で停滞していた各種地域公益活動を徐々に新しい形で再開をすることが出来た。</li> <li>3. 地域や関係機関等との連携を強化し、地域に開かれた事業が行えた。（就労事業所利用者による町内会広報の配布。運営推進会議・圏域会議等への積極的参加）</li> </ol>

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 5 年度実績 (%)	R 5 年度目標 (%)	R 4 年度実績 (%)	R 3 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホーム リベラ荘 (従来型)	36	93.0	96.0	94.3	94.1
2	特別養護老人ホーム リベラ荘 (ユニット 型)	18	86.3	94.0	87.9	93.4
3	ケアハウスフェリコ 館	30	98.7	100	99.8	98.4
4	せんだんの杜短期入 所生活介護事業所	16	88.8	98.0	91.5	90.8
5	せんだんの杜訪問介 護事業所 (障がい)	—	※休止中	— (時間)	※休止中	
6	せんだんの杜居宅介 護支援事業所	—	(件)	(件)	871 (件)	858 (件)
7	国見ヶ丘地域包括支 援センター	—	(予防) 3582 (件) (相談) 2001 (件)	(件)	5,037 (件)	3,315 (件)
8	杜の子ハウス (放課 後等デイサービス)	10	105.5	100	98.0	76.4
9	遊杜家 (放課後等デ イサービス)	10	108.8	100	92.0	108.4
10	国見ヶ丘の家 (放課 後等デイサービス)	10	104.7	100	92.0	103.9
11	国見ヶ丘せんだんの 杜保育園	99	104.0 (名)	105.0 (名)	104.9 (名)	104.8 (名)
12	国見ヶ丘せんだんの 杜保育園分園	28	30.0 (名)	30.0 (名)	30.0 (名)	30.0 (名)
13	せんだんの杜地域子 育て支援センター	—	220 (件)	200 (件)	114.5 (件)	78 (件)
14	せんだんの家 (自立 援助ホーム)	暫定 9	103 (名)	88 (名)	66.7 (名)	93 (名)
15	杜の工房 (就労支援 B型)	20	120.3 (名)	21.3 (名)	163.0 (名)	12.7 (名)
備考						

### 3. せんだんの杜ものう実施内容

<p>総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特養ならびに短期入所、地域福祉センター通所介護の定員変更、うした事業所（グループホーム・通所介護）の廃止を行う等、事業の立て直し対策に取り組んだ。</li> <li>2. 利用者・職員の安全を確保するため、BCP（事業継続計画）に沿って、感染症および各種災害に対する学びと訓練の機会を定期的に設け、対応力向上に取り組んだ。</li> <li>3. 運営委員会を通じて、地域住民が持つニーズと事業所が把握している地域ニーズとをすり合わせながら、個々が望む生活の実現に向けた支援の提供を心掛けて行った。</li> </ol>
<p>実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者等とのコミュニケーションを深め、一人ひとりが望む暮らし作りのためのサービス提供に取り組む</li> <li>2. 地域における福祉課題に対して、地域との協働・連携を意識した活動を実践し、社会貢献と新たなサービスの創造と実践に取り組む</li> <li>3. 職員一人ひとりが働きやすさ、やりがいを持てる職場環境の整備・改善を図り、職員の定着率向上に取り組む</li> <li>4. 職員一丸となり、経費削減に取り組むとともに、稼働率向上による収入の増加に対する意識を高め、安定した経営の基盤づくりに取り組む</li> </ol>
<p>主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特養において、前年度のコロナ蔓延事例を教訓にして、多床室（4人部屋）の個室化工事に対して実施した（全額補助金にて対応）。感染症対策だけでなく、プライバシーの保護の効果も確認されている。</li> <li>2. グループホームにおいて、外部の訪問看護事業所との提携により、定期的な体調管理と職員の観察力・対応力向上につながり、入居者が安心して暮らせる環境づくりにつながっている。</li> <li>3. 各種災害・感染症に対して、各部署にて実際の事例等を用いた訓練を行い、対応力強化ならびにマニュアルの見直しを行うことができた。</li> <li>4. 各種委員会活動、内部研修による学びの機会を設け、一方的に伝える内容ではなく、職員間のコミュニケーション機会として捉え、お互いの思いを知る機会につなげ、働きやすい職場づくりへとつなげた。</li> </ol> <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運営委員会委員である地域住民の方々から地域のニーズや課題を教えて頂き、事業所が提供するサービスの見直しや対応方法の見直しに取り組むことができた。</li> <li>2. 石巻地区老施協が主催する「介護・福祉フェスティバル」に多くの職員を派遣し、介護・福祉に関する魅力を伝えるとともに、介護人財確保の機会に参画した。</li> <li>3. 他地域包括支援センターと協働しての認知症カフェ、ケア会議、各種勉強会等を開催した。</li> <li>4. 居宅介護支援事業所を中心に、家族介護者教室を開催した。</li> </ol>

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 5 年度実績 (%)	R 5 年度目標 (%)	R 4 年度実績 (%)	R 3 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホーム ファミリオ	62	92.9	98.5	93.6	98.5
2	ものう短期入所生活介 護事業	3	101.5	85.0	76.1	76.6
3	地域福祉センター通所 介護事業（月～金）	30	76.8	78.0	74.8	80.1
4	ケアハウスフェリカ	15	97.7	99.0	96.2	94.9
5	ものう訪問介護事業	—	446.7 (時間)	450.0 (時間)	439.3 (時間)	389.2 (時間)
6	ものう居宅介護支援事 業	—	92.8 (件)	110.0 (件)	93.0 (件)	99.2 (件)
7	石巻市ものう地域包括 支援センター	—	111.9 (件)	110.0 (件)	105.3 (件)	100.8 (件)
8	なかつやま認知症対応 型共同生活介護事業	9	99.1	99.0	92.5	95.8
9	なかつやま第一通所介 護事業（月～日）	10	74.1	80.0	70.7	76.3
10	うした認知症対応型共 同生活介護事業	9		備考欄参照	85.4	97.9
11	うした通所介護事業 （月～日）	10		備考欄参照	72.9	63.7
12	石巻市桃生地区第一放 課後児童クラブ	40	16.6 (人)	20.0 (人)	12.1 (人)	9.9 (人)
13	石巻市桃生地区第二放 課後児童クラブ	50	37.9 (人)	40.0 (人)	39.4 (人)	35.3 (人)
備考	特別養護老人ホームファミリオは、R5.10.1より定員を50人から62人へ変更 せんだんの杜ものう短期入所生活介護事業所は、R5.10.1より定員を12人から3人へ変更 地域福祉センター通所介護事業所は、R5.4.1より定員を25人から30人へ変更 うした通所介護事業所は、R5.3.31休止、R5.4.30廃止 うした認知症対応型共同生活介護事業所は、R5.4.30廃止					

#### 4. せんだんの里

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人員体制については、各ユニットの状況を確認し、改めて必要な人員の見直しを行うとともにサービス内容も整理し対応できたが、組織の活性化及びサービス活動による収益増については引き続き、経営改善の取り組みが必要である。</li> <li>2. 職員採用に係る費用（紹介手数料）の削減を図り、光熱水費等の高騰による影響が当初見込よりも大幅に減少したことで収支バランスの改善につながった。 また、補助金の活用や各種サービス活動に係る収益改善に向けた検討や物品購入等に係る費用の見直しを行うことで費用の削減につながった。</li> <li>3. 管理経営職及び衛生委員会を中心に、労働環境の適正化に向けた対策を検討し、働きやすい職場環境の整備について、課題を抽出する事ができた。</li> <li>4. 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、認知症サポーター養成講座やイベント（ハイブリット含め）を開催する機会を増やし、継続的に実施することができた。</li> </ol>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営改善の検討により適正な人員配置の整備を行った。</li> <li>2. ストレスチェックの結果からの各部署の課題を整理し、担当部長が主となり課題の解決に取り組んだ。また、安全衛生推進活動を定期的に行い、職員一人一人の「働く環境の場づくり」への意識向上を図った。</li> <li>3. 貝ヶ森地域の方々との協働で、集合型（対面）による認知症カフェを再開するとともに、参集型での施設見学会等を行った。</li> <li>4. サービス活動等におけるICT（情報通信技術）機器の利用による情報共有、連携の強化を図った。</li> </ol>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居サービス（特別養護老人ホーム）においては、入居までの期間の短縮を図るとともに、退居者が退居の際に優先的に声をかける承認待機者を決めておくことでスムーズな入居につながり、その結果、稼働状況が改善しサービスの収益増につながった。</li> <li>2. 介護保険施設事業所に求められる責務を果たすとともに、労働関係法令に則った課題を抽出し、その改善に向けた取り組みをとおして、施設事業所の共通ルールを検討し共有することで、職場環境改善につながった。</li> <li>3. 事業継続計画（BCP）に基づく感染症対応訓練、自然災害対応訓練を行い、日ごろの備えの必要性を認識するとともに、災害時における対応力の強化を図った。</li> </ol> <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 貝ヶ森地域の住民並びに地域包括支援センターと協働・連携による認知症カフェを開催した（9回開催）。</li> <li>2. 近隣地域住民を対象に、参集型による施設見学会（2回開催）を開催したことからサービスの利用につながった。</li> <li>3. SNSやお便り（「里だより（毎月発行）」「ハピネス通信（不定期発行）」「グループホーム便り（不定期発行）」）による情報発信をとおして、施設を身近に感じてもらうことにつながった。</li> </ol>

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 5 年度実績 (%)	R 5 年度目標 (%)	R 4 年度実績 (%)	R 3 年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護 老人ホーム	160	97.9	97.5	94.1	94.7
2	せんだんの里ショート ステイ(障がい福祉サー ビス含む)	17	80.2	78.2	72.8	80.0
3	せんだんの里デイサー ビス	30	66.9	73.0	65.8	61.9
4	せんだんの里国見ヶ丘 3丁目デイサービス	10	(休止中)	(休止中)	55.5	73.4
5	せんだんの里グループ ホーム	27	95.2	98.0	95.9	98.3
6	せんだんの里国見ヶ丘 3丁目グループホーム	9	95.9	100.0	100.0	98.8
7	せんだんの里居宅介護 支援事業所	—	92.6 (件)	102.0 (件)	90.5 (件)	91.7 (件)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せんだんの里ショートステイ：令和5年10月から定員17名</li> <li>・せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス：令和4年11月以降休止中</li> </ul>					

## 5. せんだんの館実施内容

総括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 収入の安定に繋がるマネジメントの実施と、社会情勢に応じた収益の強化を図った。</li> <li>2. 限られた人的環境の中でも、一人ひとりがやりがいをもって働ける職場風土の醸成に努めた。</li> <li>3. 地域団体や住民との協働関係を築き、地域ニーズに即した地域公益事業を実施した。</li> </ol>
実施項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空床期間短縮の強化と新規事業の実施</li> <li>2. 利用者の余暇支援の強化</li> <li>3. 5S活動の継続的取り組みによる働きやすい職場環境の整備</li> <li>4. 地域関係機関との連携強化と地域公益活動の継続</li> </ol>
主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居申込者に対する早期介入・早期契約の実施により、昨年度の調整日数平均 16.8 日に対して、調整日数平均 8.1 日間の入居調整となった。(退居者 31 名のうち 4 名が療養型へ転院、1 名が法人内特養へ、7 名が入院中逝去、19 人が館で看取り、入院延日数 418 人)</li> <li>2. 障害者総合支援法に基づいた指定福祉型短期入所サービスを開始した。</li> <li>3. 食費の値上げ、個人電化製品持込料の徴収、預り金等管理料の値上げを実施した。</li> <li>4. 感染症対策で制限してきた一時帰宅等の外出支援やイベントの再開と、それにより家族とスタッフのコミュニケーションの強化につながった。</li> <li>5. 安全推進者を中心とした 5S 活動の強化と、産業医による職場巡回と評価を実施した。</li> <li>6. 職員健康診断の結果に基づき、疾病の予防に対する医師からの講演を開催した。</li> </ol> <p>【地域における公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リモート健康教室 (14 回)</li> <li>2. 児童への学習支援 (4 回)</li> <li>3. 近隣町内会への出前講座や防災活動等 (7 回)</li> <li>4. 北仙台地区の地域清掃活動の実施 (12 回)、無料相談会 (2 回)</li> <li>5. 認知症カフェ「ぷらっとカフェすまいる」の開催 (18 回)</li> <li>6. 実習受入 (174 名)</li> <li>7. ボランティアの受入れ (中学生 19 名、高校生 2 名、大学生 20 名、地域住民 1 名、団体 3 名 計 45 名)</li> </ol>

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 5 年度実績 (%)	R 5 年度目標 (%)	R 4 年度実績 (%)	R 3 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.1	98.4	97.9	97.4
2	せんだんの館ショートステイ	20	88.0	90.0	76.6	93.1
3	せんだんの館デイサービス	40	72.8	80.0	63.2	70.7
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	—	75.8 (件)	70.0 (件)	74.0 (件)	70.8 (件)
備考	「指定福祉型短期入所サービス」(令和5年11月1日指定)の利用実績なし。					

## 6. 認知症介護研究・研修仙台センター実施内容

<p>総括</p>	<p>東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他の事業を実施した。</p>
<p>実施項目と主な内容</p>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. 研究事業</p> <p>1) 運営事業費における研究事業の実施</p> <p>(1) 認知症介護の技術動画を活用した事業所内教育システムの構築に関する研究</p> <p>(2) 認知症介護基礎研修 e ラーニングの学習効果の検証および評価手法の開発に関する研究</p> <p>(3) 認知症ケアの観点からみた虐待防止・身体拘束適正化に関する調査研究</p> <p>(4) 認知症の本人主体の介護サービスの在り方に関する調査研究</p> <p>(5) 認知症の人と家族の一体的支援プログラムの普及促進に関する研究</p> <p>(6) 認知症ケアレジストリ研究</p> <p>2) 厚生労働省委託事業</p> <p>(1) 高齢者虐待の実態把握等のための調査研究</p> <p>3) 日本学術振興会科学研究費による研究事業の実施</p> <p>(1) 身体拘束適正化に向けた行政指導・介護施設における取組の実効性に関する研究</p> <p>(2) 認知機能に不安を抱く高齢者への就業継続支援：シルバー人材センターにおける検討</p> <p>2. 研修事業</p> <p>認知症介護指導者養成研修、認知症介護指導者フォローアップ研修</p> <p>3. 運営事業補助金による事業</p> <p>運営協議会、外部評価委員会、全国運営協議会、認知症介護セミナー、行政担当者セミナー、認知症介護指導者スキルアップセミナー</p> <p>4. 受託事業</p> <p>仙台市認知症カフェ支援事業、仙台市認知症ピアサポート活動支援業務（認知症カフェ派遣）、宮城県認知症カフェ普及促進研修事業</p> <p>5. その他事業</p> <p>認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業、認知症カフェモデレーター研修、認知症を学ぶ30分ナイトセミナー、知的財産権セミナー、ハラスメント研修</p> <p><b>【地域における公益活動】</b></p> <p>認知症カフェ（土曜の音楽カフェ♪）の実施、おれんじドア運営の支援</p>

各研修事業の実績と目標の比較

No	研 修 名	定員 (人)	R 5 年度実績 (人)	R 5 年度目標 (人)	R 4 年度実績 (人)	R 3 年度実績 (人)
1	第 1 回認知症介護指導 者養成研修	20	1 5	1 8	1 4	0 (中止)
	第 2 回認知症介護指導 者養成研修	20	1 2	1 8	1 5	1 7
2	第 1 回フォローアップ 研修	20	6	1 8	6	1 4
	第 2 回フォローアップ 研修	20	1 3	1 8	9	6
備 考	受講定員は新型コロナウイルス感染症等対策を考慮し 18 名とした。					